

第 2 回八王子支社管内のり面防災対策検討会

結果概要

1. 中央道上り線 43.8KP の現地調査結果および本復旧工事に向けた対策工について

○第 1 回検討会で決定した方針に基づき、ボーリング調査等の結果および二次崩落対策としての高強度ネットの設置状況について報告した。

○ボーリング調査の結果から、地形地質条件および崩壊メカニズムについて以下の通り推察されることを確認した。

- ・本被災箇所は集水域に位置し、表流水や地下水を集めやすい地形条件であったこと。
- ・透水性の低い基盤岩上に、崖錐堆積物とローム層が存在する地質条件であったこと。
- ・台風 19 号の長時間降雨によってローム層内の地下水位が上昇したため切土のり面が不安定化し、崩落が発生したと推察される。

○ボーリング調査の結果に基づき、対策工の検討をおこなった結果について審議し、以下の通り了承された。

[のり面安定対策工]

排土工、グラウンドアンカー工、モルタル吹付工、のり砕工

○今後、のり面安定対策施設の詳細な設計を実施してくとともに、現地状況から地下水排除および地表水排除の検討を進めることとされた。

2. その他の被災箇所の対策工検討状況について

<上り線 38.1KP>

○ボーリング調査を実施し、その結果を踏まえ復旧対策の具体的な内容について検討をおこなっていくものとする。

<上り線 38.7KP>

○溪流調査およびボーリング調査を実施し、その結果を踏まえ対策の具体的な内容について検討をおこなっていくものとする。

【参考】 検討会開催状況

